

2024 年 7 月 5 日

報道関係者各位

フクシマガリレイ株式会社

フクシマガリレイ

フルオロカーボン・イニシアティブ(IFL)に参画

フクシマガリレイ株式会社(本社：大阪市西淀川区、代表取締役 社長執行役員 福島 豪)は、環境省が主管するフルオロカーボン・イニシアティブ(IFL)の取り組みに賛同し、本事業への参画を表明しました。



世界的に冷凍空調部門のフルオロカーボン（以下、フロン）需要は増加傾向にあります。エアコン等のフロンを使用する機器は、今後 30 年間にわたり、1 秒に 10 台の販売ペースで増加していくと予測されています。その中でも、100 ケ国以上の国がフロン対策に関する目標を持っていない状況で、市中ストックに対する回収・処理等の措置を講じなければ、排出量は 2030 年頃に約 20 億トン-CO₂ まで増加すると見込まれています。(※1)

当社は本事業へ参画することにより、当社の技術をフロンの回収・処理技術に関する制度が未整備な発展途上国へ展開する事で、温室効果ガスの削減と、環境と成長の好循環を目指しています。

そして、2050 年までの「カーボンニュートラル・脱炭素社会の実現」に向け取り組んでいきます。

※1 出典元：オゾン層破壊の科学アセスメント 2018 (WMO/UNEP)

ガリレイグループの気候変動に関する取り組みについて

ガリレイグループは、パーパス「食といのちの未来を拓く」の実現に向けて、8つのマテリアリティ(重要課題)を特定しました。重要課題の中でも事業の継続性への影響度の高さおよびパーパスに掲げる地球の「いのち」を守る観点から、「気候変動対応」を最重要課題として特定し、サステナブルビジョン「Dramatic Future2050」を掲げ取り組んでいます。

サステナブルビジョン「Dramatic Future2050」 <https://www.galilei.co.jp/sustainable/>

フルオロカーボン・イニシアティブ(IFL)とは

COP25(2019 年 12 月開催)において、環境省が主導し設立したライフサイクル全体を通してフロン^①の排出抑制を目指す国際的なイニシアティブ。フロン^①のライフサイクルでの管理の重要性を国際的に訴求するとともに、発展途上国においてフロン管理に係るキャパシティ・ビルディングや制度構築支援等を実施している。

環境省ウェブサイト「IFL について」

https://www.env.go.jp/earth/ozone/fluorocarbon_initiative/fluorocarbon_initiative-J-ver01.html

以上

お問い合わせ先 フクシマガリレイ株式会社（担当：経営企画部 広報課）

〒555-0011 大阪市西淀川区竹島 2-6-18 TEL：06-6477-2011 FAX：06-6477-0755

U R L：https://www.galilei.co.jp/